



社会保険

社会保険とは、特定の用途のために、対象となる者と事業所を強制加入とし、保険料を徴取し、それを原資として給付を行う公的な保険制度であり、日本の社会保障制度の中核を担っている。

社会保険には、医療保険、介護保険、年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険がある。医療保険、介護保険、年金保険を狭義の社会保険といい、雇用保険と労働者災害補償保険は労働保険という。

社会保険の運営主体を保険者といい、保険料を納める者を被保険者という。被保険者を含め対象になる者を加入者（保険者によっては組合員）という。保険者が加入者に対して行うサービスや金銭（現金）の提供を保険給付という。わが国の社会保険の特徴は、次の3点である。

- ① 強制加入であること
法的に加入が義務づけられ、加入保険の選択はできない。
- ② 国が管理すること
直接または間接に国が管理または監督し、保険料を徴取し、保険給付する。
- ③ 負担は所得に応じて行うこと
民間保険と異なり、原則として保険料は所得に応じて自動的に決まる。ただし、例外として、年金保険の基礎年金保険料は所得額にかかわらず、すべての被保険者で一定である。

医療保険、介護保険、年金保険は、保険料のみを財源とするのではなく、公費（税）が投入されている。それぞれの社会保険における保険料と公費（税）の負担割合のあり方は、制度の根幹にかかわる問題であり、消費税率にも関係

Side memo

社会保険
医療保険における被用者保険が社会保険を意味することもあるが、本書では本文中の意味で用いる。

する可能性がある。高齢化等による社会保険負担が増大するなか、国民負担率（社会保険料負担と租税負担の合計額の国民所得に占める割合）の増加が問題となっている（図 9-1）。

1. 医療保険

1) 概要

医療保険は傷病に備えて、被保険者と事業主が、あらかじめ保険料を納め、実際に医療を受けたとき、医療費の支払いにあてる制度である。医療を受けたときのみならず、出産から死亡まで一生をカバーする。医療保険は一般に健康保険ともいう。なお、労働者の業務上等の傷病については、医療保険ではなく、労働者災害補償保険から給付が行われる。

2) 医療保険制度の特徴

a. 国民皆保険

すべての国民が公的な医療保険制度に加入する。これにより、誰もが安心して医療を受けることができる。また、強制加入とすることで、加入者が、病気になるやすりリスクの高い人に偏り、保険が成立しないこと（逆選択）を防止している。なお、例外として生活保護受給者は、医療保険の加入から外れて「生活保護法」の医療扶助の対象となる。

b. フリーアクセス

患者は、みずからが加入する医療保険の種別や住所に関係なく、全国どこも保険医療機関でも自由に選択し受診することができる。

c. 現物給付

受診時には、要した医療費が給付されるのではなく、医療サービスという現物が給付される。保険医療機関の窓口では3割（または2割か1割）を支払い、残りの7割（または8割か9割）の医療費は保険者から保険医療機関に支払われる。

d. 社会保険方式を基本としつつ公費（税）を投入

財源別医療費の構成割合では保険料が50%を占めるものの、公費が37.9%（国25.3%、地方12.5%）投入されている（保険料と公費以外のその他12.1%）。

e. その他の特徴

① 多種多様な保険者が存在

約3,400もの保険者が存在し、保険者によって加入者の平均年齢、平均所得等に大きなばらつきがあり、保険者間の財政調整が行われている。

公的医療保険、民間医療保険
医療保険には「公的医療保険」と「民間医療保険」がある。
・公的医療保険：社会保障制度における「医療保険」であり、一般的に「健康保険」と呼ばれる。
・民間医療保険：一般的に「医療保険」と呼ばれる。
なお、本書では、とくに区別が必要な場合を除き、公的医療保険を「医療保険」、健康保険法に基づく健康保険制度を「健康保険」と表記する。

労働者災害補償保険
9章（p. 207）参照。

子ども子育て支援金
2026（令和8）年度からは、少子化対策の財源確保として、子ども子育て支援金が、医療保険料・介護保険料に上乗せする形で徴収されることとなっている。

生活保護法
9章（p. 221）参照。

選定療養
保険医療機関の機能分担の点から、紹介なく直接、大病院を受診することは、診療報酬上、特別の料金（選定療養）を徴収する一定の制約が設けられている。
10章（p. 233）参照。

療養の給付
9章（p. 185）参照。

財源別医療費の構成割合
表 10-5（p. 239）参照。

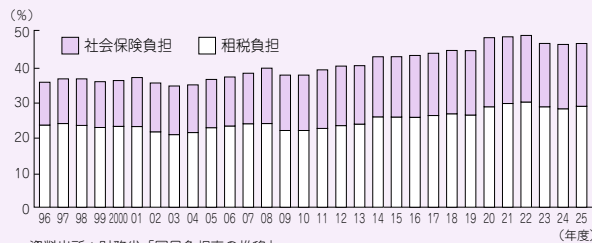


図 9-1 国民負担率の推移

(労働政策研究・研修機構：国民負担率、<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/shuyo/0603.html>)